

2025年3月14日

報道関係各位

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）
〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内（受付13階）
TEL:03-6860-8254
<https://www.jcssa.or.jp/>
連絡先 Email: tmikanohara@jcssa.or.jp

セキュリティとデジタルトランスフォーメーションへの取り組み状況に関する 調査研究報告書を発表

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（東京都文京区 会長 林宗治）は、2024年8月から10月にかけて、セキュリティ、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組み状況、およびシステム基盤の整備状況について調査を実施した。調査対象は以下の通りで、本日最終結果としての調査研究報告書をホームページにて発表した。また併せて、セキュリティ、およびDXについての事例集/技術解説も作成し、同じくホームページにて発表した。

なお、本年度版の報告書全体については、当協会会員やアンケート回答協力頂いた会員顧客企業等の関係者のみへの公開としているが、報告書（エグゼクティブサマリー）、事例集/技術解説および昨年度以前の報告書等は一般公開し、どなたでも広く閲覧可能となっている。

調査対象企業： 全回答数 1031社

- ✓ 会員顧客企業 : 331社（平均従業員数776人）
JCSSAの会員企業の顧客で、従業員数2000人未満、年間売上3000億円未満の企業
- ✓ 中規模一般企業 : 350社（平均従業員数116人）
インターネットを通して一般から募集した、従業員数21人から350人の企業
- ✓ 小規模一般企業 : 350社（平均従業員数7人）
インターネットを通して一般から募集した、従業員数20人以下の企業

報告書内容のトピックス

1. セキュリティへの取り組み状況

- セキュリティ対策は、会員顧客企業で8割、中規模一般企業で7割、小規模一般企業で6割の実施済みの状況
- 社内データ保護のために導入されている製品では、会員顧客企業では「バックアップ製品」、「Active Directory」、中規模一般企業では「Active Directory」、「ネットワークアクセス制限製品」、小規模一般企業では「バックアップ製品」の割合が高い

- セキュリティ対策未実施企業の課題としては、会員顧客企業では「リソース不足」、一般企業では「コスト、経済的な制約」・「経営陣のセキュリティへの関心や意識」の割合が高い

2. DX への取り組み状況

- DX への取り組みは、会員顧客企業および中規模一般企業で進んでいる
- DX に取り組む、または取り組もうとする背景にある経営課題は、「生産性向上」、「収益性向上」、「人材の確保・育成」の割合が高い
- DX を推進する際の妨げは「初期投資費用の確保」と「デジタル技術で業務プロセスに適用できる人材の確保」の割合が高い

3. IT システムの整備状況

- パソコンの OS 比率では、一般企業では過去 3 年で Windows11 の普及が進んでいるが、会員顧客企業では 3 割弱の普及水準
- 会員顧客企業の業務のシステム化状況では、「フロントオフィス」では<クラウドサービス利用>、「業務固有部門」では<オンプレミス利用>の割合が高い

報告書、解説書の掲載ページ

【調査研究報告書】専用ページ：<https://www.jcssa.or.jp/SSH/>

<2024 年度報告書> ログインが必要（ID/PW は会員など関係者へ個別通知）

<2024 年度報告書（エグゼクティブサマリー）>、<2023 年度以前の報告書>、

その他参考資料 ログイン不要で閲覧可能

【事例集/技術解説】専用ページ：<https://www.jcssa.or.jp/SSK/>

<事例集>、<技術解説> ログイン不要で閲覧可能

／以上